

第 53 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	上島ゼミ	チーム名	3 匹のこぶた
タイトル	どうする！？空き家問題！		
テーマ群	g)その他		
メンバー	元田瑛己 矢野史佳 水野郁実		
研究計画内容	<p>【研究背景】</p> <p>近年、管理不全状態の空き家増加に伴い、処分や活用法が問題視されている。総務省の統計によると、2018 年度に全国に空き家は約 850 万戸存在し、これは全住宅の 13.6%に相当する。賃貸、売却、2 次的住宅を除いても 340 万戸は放置された空き家で適切な管理がされていない。放置された空き家は、安全面・防犯面・環境面で周辺住民を不安にさせる。人口減少が進む現代において、空き家は増加し続けると予想される。そこで、私たちはどうすれば空き家を減らせるのか考える。</p> <p>【研究内容】</p> <p>そもそも、所有者はなぜ空き家を放置しているのか。空き家を活用する意思について尋ねたアンケートに、「空き家を活用したい」「やや活用したい」と答えた割合は 7 割以上であった。このことから、空き家を有効に使いたいと思っている人が多くいることがわかる。にももかかわらず、多くの空き家が手つかずの状態にある。</p> <p>しかし、自治体が介入できるのは「特定空き家」に指定された空き家のみだ。その数は、空き家 340 万戸のうち、わずか約 4 万戸である。すなわち、ほとんどの空き家は自治体が介入できていない。このままでは、空き家は減らない。</p> <p>そこで、詳しい要因や背景を調査するため、自治体へのインタビューを行う。空き家の所有者・自治体・空き家を活用したビジネスを行う企業など、それぞれの抱えてる現実を分析した上で、日本の空き家を減らす解決策を提案する。</p> <p>【期待される効果】</p> <p>当事者や近隣の住民の問題を解決することに加えて、空き家の有効活用は地域活性化など、社会全体に寄与することが期待できる。</p> <p>【参考文献】</p> <ul style="list-style-type: none">・アキサポ「独自調査から判明。空き家問題に関するよくある勘違いとは？」 https://t.co/tbJxcCwiEt (2023 年 10 月 26 日閲覧)・国土交通省「空き家政策の現状と課題及び検討の方向性」 https://t.co/GDf721p5Z8 (2023 年 10 月 26 日閲覧)・BUILT Building×IT「居住目的のない空き家は全戸呼応 349 万戸 国交省が相続時の発生抑制など対策委員会設置」 https://t.co/xFCckMSGmt (2023 年 10 月 26 日閲覧)		